



## 平成28年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成28年8月9日  
上場取引所 東

上場会社名 佐渡汽船株式会社  
コード番号 9176 URL <http://www.sadokisen.co.jp>  
代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小川 健  
問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役総務部長 (氏名) 尾崎 弘明 TEL 025-245-2311  
四半期報告書提出予定日 平成28年8月12日 配当支払開始予定日 —  
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年12月期第2四半期の連結業績（平成28年1月1日～平成28年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年12月期第2四半期	4,751	△4.6	△598	—	△668	—	△726	—
27年12月期第2四半期	4,980	△5.1	△537	—	△592	—	147	—

(注) 包括利益 28年12月期第2四半期 △735百万円 (—%) 27年12月期第2四半期 158百万円 (—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年12月期第2四半期	△51.37	—
27年12月期第2四半期	10.43	10.25

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年12月期第2四半期	16,246	2,402	11.8
27年12月期	16,689	3,134	15.9

(参考) 自己資本 28年12月期第2四半期 1,918百万円 27年12月期 2,653百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年12月期	—	—	—	0.00	0.00
28年12月期	—	—	—	—	—
28年12月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

### 3. 平成28年12月期の連結業績予想（平成28年1月1日～平成28年12月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	11,292	△3.5	△190	—	△336	—	△386	—	△27.32

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日発表の「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(注) 詳細は、添付資料 4 ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	28年12月期 2 Q	14,275,450株	27年12月期	14,275,450株
② 期末自己株式数	28年12月期 2 Q	124,537株	27年12月期	124,537株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	28年12月期 2 Q	14,150,913株	27年12月期 2 Q	14,150,913株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期財務諸表に対するレビュー手続を実施中であります。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項については、添付資料 3 ページをご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	7
四半期連結包括利益計算書	
(第2四半期連結累計期間)	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、大企業を中心に企業収益や雇用情勢の改善などで緩やかな回復基調が窺えたものの、その一方では、円高の進行や為替の変動、中国経済の減速などにより、国内の消費マインドが冷え込むなど、依然として先行き不透明な状況が続きました。

こうした状況の中、当社としては安全運航の徹底とともにお客様の減少傾向を止め、併せて経営の合理化の推進を掲げて積極的な営業展開を図りました。その結果、比較的穏やかな気象・海象によって欠航便数が前年同期よりも減少したものの、繁忙期であるゴールデン・ウィークに天候不順が続いたことなどが影響し、旅客輸送人員及び自動車航送換算台数ともに前年同期を下回りました。一方、貨物重量トン数は佐渡島内の人口減少に伴う生活物資輸送の減少等が影響し、前年同期を下回りました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は4,751,687千円(前年同期比4.6%減)、営業損失は598,780千円(前年同期は537,329千円の営業損失)、経常損失は668,186千円(前年同期は592,278千円の経常損失)、親会社株主に帰属する四半期純損失は726,890千円(前年同期は147,544千円の親会社株主に帰属する四半期純利益)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、当社グループの売上高は事業の性質上、第3四半期に著しく増加する傾向にあり季節的変動が顕著であります。

## ①海運

当第2四半期連結累計期間の旅客輸送人員は627,892人(前年同期比1.7%減)、自動車航送台数は乗用車換算で87,854台(前年同期比1.1%減)、貨物輸送トン数は74,642トン(前年同期比8.0%減)となりました。

輸送実績は、繁忙期であるゴールデン・ウィークの天候不順、昨年就航した新造船効果の反動等で旅客輸送人員が減少しました。また、佐渡島内の人口減少に伴う生活物資輸送の減少等により、貨物輸送及びトラック航送は前年同期を下回りました。

以上の結果、売上高は3,217,452千円(前年同期比3.2%減)、セグメント損失(営業損失)は527,429千円(前年同期は490,509千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

## ②一般貨物自動車運送

佐渡島内の人口減少に伴う生活物資輸送の減少等で貨物取扱量が減少したことから、売上高は減少しました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は738,621千円(前年同期比6.4%減)、セグメント損失(営業損失)は5,407千円(前年同期は7,671千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

## ③売店・飲食

当第2四半期連結累計期間の売上高は420,640千円(前年同期比15.3%減)、セグメント損失(営業損失)は42,445千円(前年同期は37,493千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

## ④観光

当第2四半期連結累計期間の売上高は277,118千円(前年同期比0.5%減)、セグメント損失(営業損失)は45,429千円(前年同期は29,178千円のセグメント損失(営業損失))となりました。

## ⑤その他

当第2四半期連結累計期間の売上高は97,856千円(前年同期比7.2%増)、セグメント利益(営業利益)は1,784千円(前年同期比75.7%減)となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産合計は、前連結会計年度末に比べ442,703千円減少し16,246,489千円となりました。

流動資産は前連結会計年度末に比べ418,361千円減少し3,835,122千円となりました。これは、現金及び預金が104,342千円増加したものの、繰延税金資産が56,648千円、その他が478,232千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定資産は前連結会計年度末に比べ36,720千円減少し12,358,497千円となりました。これは、建物(純額)勘定が50,200千円、その他(純額)勘定が45,688千円それぞれ増加したものの、船舶(純額)勘定が108,739千円減少したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は、前連結会計年度末に比べ289,738千円増加し13,843,994千円となりました。

流動負債は前連結会計年度末に比べ275,638千円減少し4,008,665千円となりました。これは、その他が324,760千円、支払手形及び買掛金が73,455千円それぞれ増加したものの、短期借入金が329,000千円、1年内償還予定の社債が193,200千円、1年内返済予定の長期借入金が59,129千円、未払法人税等が98,896千円それぞれ減少したことが主な要因であります。

固定負債は前連結会計年度末に比べ565,376千円増加し9,835,329千円となりました。これは、社債が411,580千円、長期借入金が107,591千円それぞれ増加したことが主な要因であります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は、前連結会計年度末に比べ732,441千円減少し2,402,495千円となりました。これは、726,890千円の親会社株主に帰属する四半期純損失を計上したことが主な要因であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年2月19日に公表いたしました業績予想及び配当予想を、平成28年8月9日に修正しております。

修正理由につきましては、平成28年8月9日付「通期業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

なお、特定子会社の異動には該当していませんが、連結子会社の(株)海鮮横丁は平成28年4月8日付で清算終了いたしました。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

(企業結合に関する会計基準等の適用)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更しております。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更しております。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱いの適用)

一部の連結子会社におきましては、法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」(実務対応報告第32号 平成28年6月17日)を当第2四半期連結会計期間から適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は軽微であります。

### (4) 追加情報

(法人税等の税率の変更による影響)

「所得税法等の一部を改正する法律」(平成28年法律第15号)及び「地方税法等の一部を改正する等の法律」(平成28年法律第13号)が平成28年3月31日に公布されたことに伴い、当連結会計年度の繰延税金資産及び繰延税金負債の計算(ただし、平成29年1月1日以降解消されるものに限る)に使用する法定実効税率は、従来の32.87%から、回収又は支払が見込まれる期間が平成29年1月1日から平成30年12月31日までのものは30.69%、平成31年1月1日以降のものについては30.45%にそれぞれ変更されております。

なお、この税率変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,003,022	2,107,364
受取手形及び売掛金	811,337	790,782
たな卸資産	753,694	785,922
繰延税金資産	64,704	8,056
その他	626,706	148,474
貸倒引当金	△5,980	△5,476
流動資産合計	4,253,483	3,835,122
固定資産		
有形固定資産		
船舶(純額)	5,991,786	5,883,047
建物(純額)	2,955,077	3,005,277
土地	1,749,305	1,749,305
建設仮勘定	52,220	53,449
その他(純額)	844,347	890,035
有形固定資産合計	11,592,736	11,581,113
無形固定資産		
のれん	500	250
その他	232,945	216,527
無形固定資産合計	233,445	216,777
投資その他の資産		
投資有価証券	172,734	159,949
長期前払費用	285,828	307,856
繰延税金資産	34,730	35,312
その他	75,777	57,523
貸倒引当金	△33	△33
投資その他の資産合計	569,036	560,607
固定資産合計	12,395,217	12,358,497
繰延資産		
社債発行費	40,492	52,870
繰延資産合計	40,492	52,870
資産合計	16,689,192	16,246,489

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成27年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	385,184	458,639
短期借入金	608,000	279,000
1年内償還予定の社債	613,240	420,040
1年内返済予定の長期借入金	1,826,969	1,767,840
未払法人税等	111,529	12,633
賞与引当金	46,620	52,992
その他	692,761	1,017,521
流動負債合計	4,284,303	4,008,665
固定負債		
社債	1,617,580	2,029,160
長期借入金	6,536,172	6,643,763
役員退職慰労引当金	61,573	50,274
退職給付に係る負債	769,375	804,426
特別修繕引当金	40,527	67,658
資産除去債務	26,818	26,824
その他	217,908	213,224
固定負債合計	9,269,953	9,835,329
負債合計	13,554,256	13,843,994
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	843,135	843,135
資本剰余金	681,020	681,020
利益剰余金	1,173,917	447,027
自己株式	△68,002	△68,002
株主資本合計	2,630,070	1,903,180
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	23,660	15,628
その他の包括利益累計額合計	23,660	15,628
新株予約権	64,511	69,590
非支配株主持分	416,695	414,097
純資産合計	3,134,936	2,402,495
負債純資産合計	16,689,192	16,246,489



## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
売上高	4,980,547	4,751,687
売上原価	5,017,123	4,852,985
売上総損失(△)	△36,576	△101,298
販売費及び一般管理費	500,753	497,482
営業損失(△)	△537,329	△598,780
営業外収益		
固定資産賃貸料	36,388	34,721
受取利息	193	213
受取配当金	4,030	4,149
その他	35,342	23,552
営業外収益合計	75,953	62,635
営業外費用		
支払利息	82,640	93,861
固定資産賃貸費用	20,722	24,860
シンジケートローン手数料	1,169	500
その他	26,371	12,820
営業外費用合計	130,902	132,041
経常損失(△)	△592,278	△668,186
特別利益		
固定資産売却益	875,960	7,792
特別修繕引当金戻入額	36,075	—
特別利益合計	912,035	7,792
特別損失		
固定資産売却損	86	925
固定資産除却損	2,920	7,109
和解金	30,100	—
特別損失合計	33,106	8,034
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期 純損失(△)	286,651	△668,428
法人税、住民税及び事業税	50,669	9,310
法人税等調整額	87,635	49,068
法人税等合計	138,304	58,378
四半期純利益又は四半期純損失(△)	148,347	△726,806
非支配株主に帰属する四半期純利益	803	84
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主 に帰属する四半期純損失(△)	147,544	△726,890

四半期連結包括利益計算書  
(第2四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年1月1日 至平成28年6月30日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	148,347	△726,806
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	3,979	△8,341
退職給付に係る調整額	5,884	—
その他の包括利益合計	9,863	△8,341
四半期包括利益	158,210	△735,147
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	155,785	△734,922
非支配株主に係る四半期包括利益	2,425	△225

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年1月1日至平成27年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,324,714	789,374	496,650	278,552	4,889,290	91,257	4,980,547
セグメント間の内部売上高 又は振替高	4,506	160,737	11,065	195,289	371,597	110,130	481,727
計	3,329,220	950,111	507,715	473,841	5,260,887	201,387	5,462,274
セグメント利益又は損失(△)	△490,509	△7,671	△37,493	△29,178	△564,851	7,334	△557,517

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△564,851
「その他」の区分の利益	7,334
セグメント間取引消去	20,188
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△537,329

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年1月1日至平成28年6月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注)	合計
	海運	一般貨物 自動車運送	売店・飲食	観光	計		
売上高							
外部顧客への売上高	3,217,452	738,621	420,640	277,118	4,653,831	97,856	4,751,687
セグメント間の内部売上高 又は振替高	2,209	168,014	14,645	195,030	379,898	93,374	473,272
計	3,219,661	906,635	435,285	472,148	5,033,729	191,230	5,224,959
セグメント利益又は損失(△)	△527,429	△5,407	△42,445	△45,429	△620,710	1,784	△618,926

(注) 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、建物サービス事業及び不動産賃貸事業を含んでおります。

## 2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△620,710
「その他」の区分の利益	1,784
セグメント間取引消去	20,146
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△598,780